

# トラック協会杯第31回 全道少年団(U-11)サッカー大会 オホーツク地区予選大会

## 名称

トラック協会杯第31回 全道少年団(U-11)サッカー大会 オホーツク地区予選大会

## 主催

公益社団法人 北海道トラック協会  
オホーツク地区サッカー協会第4種委員会

## 主管

オホーツク地区サッカー協会 第4種委員会  
津別サッカー少年団

## 開催日

2021年8月28(土)、29日(日)

## 会場

津別町多目的運動公園サッカー・ラグビー場

## 組合せ

- (1) 抽選日 2021年8月7日(土)
- (2) 第4種委員長立合いのもと、事務局で厳正に抽選し結果を参加チームへ通知する。

## 参加資格

- (1) 「参加チーム」は大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
- (2) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録の小学5年生以下の選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
- (3) 第4種年代の女子選手については(クラブ申請を承認された)同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。
- (4) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、内1名以上が(公財)日本サッカー協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。
- (5) 「参加選手」は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
- (6) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。

## 大会形式

- (1) 参加チームによる予選リーグ、決勝トーナメント戦を行う。
- (2) 予選リーグでは、勝点(勝+3、引分+1、負+0)、得失点差、総得点、当該チームでの対戦結果により順位を決定する。  
それでも同率の場合は、リーグ戦終了後ペナルティキック方式により決定する。
- (3) 大会2日目の決勝トーナメントは、同点の場合はペナルティキック方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、決勝戦では同点の場合は前・後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しない時はペナルティキック方式で勝者となるチームを決定する。  
※ ペナルティキック方式は両チームとも試合終了時にピッチにいる8人からキックを行う競技者を選ぶ。3人の競技者がキックを行う。  
両チーム3人ずつの競技者がキックを行ったのち、両チームの得点と同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、交互に順序を変えることなく、キックは続けられる。
- (4) 大会2日目は決勝トーナメントのみを行う。
- (5) フレンドリーは行なわない(敗退したチームは順次解散)
- (6) 集合は、自チームの試合開始1時間半前(例:試合開始10時の場合、8時半より会場入り)

## 競技規則

(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則2020/2021」及び「8人制サッカー競技規則」による。

## 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

- (1) 競技のフィールド  
フィールドの表面は、天然芝または人工芝とする。  
サイズは以下のとおりとする。  
フィールドの大きさ:長さ(タッチライン)68m×幅(ゴールライン)50m  
ペナルティーエリア:12m  
ペナルティーマーク:8m  
ペナルティーアークの半径:7m  
ゴールエリア:4m  
センターサークルの半径:7m
- (2) ボール  
試合球は少年用4号球を使用(地区協会で用意)する。
- (3) 競技者の数  
競技者の数:8名(競技者のうち1名はゴールキーパーとする。)  
交代要員の数:8名以内を基本とする。  
交代を行うことができる人数:制限なし(交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。)
- (4) ベンチ入りするチーム役員の数:4名以下。なお、1名以上が(公財)日本サッカー協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。
- (5) 審判員  
1人の主審と2人の副審及び1人の予備審判が指名される。
- (6) テクニカルエリア  
設置する。テクニカルエリアにいる監督または指導者が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に、再度異議を示した時は、主審の判断により退場処分とし、それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。
- (7) 競技者の用具・ユニフォーム・シューズ
  - ① 本協議会に登録した1着以上のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない(2着以上の持参が好ましい)。
  - ② ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本協議会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる(ビブスも可)。
  - ③ ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレイヤーと同系色でもよいものとする。
  - ④ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立会いの下に、その試合においていずれのチームがビブス等を着用するかを決定する。
  - ⑤ ソックスにテープまたはその他の材質のものを張り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
  - ⑥ アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
  - ⑦ アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
  - ⑧ シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
  - ⑨ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
  - ⑩ すね当ての着用を義務付ける。
  - ⑪ スパイクシューズは危険を避けるため、取替えポイントでないものとする。
- (8) 試合時間
  - ① 4チームグループの試合時間は24分間(前後半各12分)とする。  
ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで):原則3分間
  - ② 3チームグループの試合時間は30分間(前後半各15分)とする。  
ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで):原則5分間
  - ③ 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合  
予選リーグ:引き分けとする。  
決勝トーナメント:ペナルティキック方式。なお、決勝戦では10分間(前後半各5分)の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式により勝利チームを決定する。  
延長戦に入る前のインターバル:原則3分間  
ペナルティキック方式に入る前のインターバル:原則1分間
- (4) アディショナルタイムの表示:行う

- (9) 交代の手続き
- ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
  - ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
  - ③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
  - ④交代は、主審、副審、補助審判の承認を得る必要はない。
  - ⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- (10) 負傷者の対応  
主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。
- (11) 飲水タイム  
暑熱下において、前後半中ほどに飲水タイムを採用する。飲水タイムの適用は、各試合前に大会本部が決定し、全てのピッチで適用する。
- (12) クーリングブ레이크  
暑熱下において、WBGT値が28℃(摂氏31℃)以上となった場合、クーリングブ레이크を採用する。クーリングブ레이크の適用は、前半開始前及びハーフタイム中に大会本部が決定し、全てのピッチで適用する。クーリングブ레이크は90秒以上180秒以内とする。その他の対応については、JFAより通達されている「熱中症対策ガイドライン」によるものとする。
- (13) 登録選手証  
出場チームは(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。但し、写真添付により、顔の確認ができるものであること。  
※「選手証」とは、WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
- (14) 選手証の確認  
集合したチームは、本部にて選手証とのチェックを行う

## 懲罰

- (1) 本大会規律委員会の委員長は第4種委員長が務め、委員は副委員長・事務局長・審判委員長とする。
- (2) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については大会規律委員会において決定する。
- (3) 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の措置については大会規律委員会において決定する。  
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (4) (公財)日本サッカー協会規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

## 表彰

- (1) 優勝チームには、表彰状とトロフィーを授与する。
- (2) 準優勝チームには、表彰状とトロフィーを授与する。
- (3) 第3位のチームには、表彰状と盾を授与する。
- (4) 本大会の優勝チームは、全道大会への出場を義務付ける。  
全道大会は9月18日(土)・19日(日)札幌会場(予定)

## 代表者・審判員会議

2021年8月28日(土) 午前8時15分～

## 開会式・閉会式

- (1) 開会式はおこなわない。
- (2) 閉会式: 2020年8月29日(日) 午後4時00分～(予定)  
※決勝進出2チームのみ参加して行う。  
※3位、4位チームは準決勝後表彰を行い解散。

## 大会開始

2021年8月28日(土) 午前9時00分～

## 帯同審判

出場チームは大会期間中、以下のとおり(公財)日本サッカー協会公認審判員を必ず帯同させること。

- (1) 2日間共に、3級以上1名、4級以上1名の計2名以上
- (2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたる。
- (3) 審判員を帯同できない場合は、不帯同料として1日につき1名当たり5,000円を参加料と同時に納入すること。

## 参加料

大会参加料 8,000円 大会当日受付時に納めること。

## 参加申込

- (1) 参加チームは所定の様式をEメールで大会事務局まで申し込むこと。
- (2) 参加申込
  - ①1次申込: 2021年8月2日(月) 午後7時まで(大会参加の有・無)
  - ②2次申込: 2021年8月6日(金) 午後7時まで(メンバー表の提出)
- (3) 1団体からの複数チームの登録は認める。ただし、それぞれのチームに有資格者・帯同審判員がいて責任をもって大会運営に協力できること。
- (4) 大会不参加のチームは、期日までにその旨を大会事務局に報告すること。  
【申込先】 オホーツク地区サッカー協会  
第4種委員会事務局  
担当 千田 久幸 (北見イーグルス)

## その他

- (1) メンバー用紙については、各チームにおいて事務局から送付された自チームのメンバー用紙3枚1組を1部として試合数分の部数を印刷し、試合開始15分前迄に1部提出すること。
- (2) 各チームともスポーツ傷害保険に加入すること。
- (3) ゴミ等は、各チームで責任をもって持ち帰ること。
- (4) 路上駐車及び駐車場の通路への駐車は厳禁とする。
- (5) 駐車場の空きスペースへ場所取りのための椅子等を置く行為を発見した場合は、4種委員会で撤去する。
- (6) 参加選手の持物については氏名とチーム名を記入し、忘れ物がないように周知・徹底すること。
- (7) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、本大会事務局において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
- (8) 試合中、当該チーム以外のピッチ内の使用は認めない。
- (9) 試合前後の空き時間を利用したピッチ内の使用は認めない。ただし、キックオフまでの時間に余裕があり、当該試合の審判団がピッチの使用を認めた場合は、この限りではない。
- (10) 「受動喫煙防止法」により、特に喫煙場所が指定されていない場所での喫煙は原則認めない。
- (11) 本競技会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。
- (12) 各チームの会場入りは、試合開始前1時間30分からとする。  
例) 11時kickoffの場合、会場入りは9時30分から。
- (13) 試合中のカメラ撮影について  
チーム役員、救護スタッフによる、テクニカルエリア及び、チームベンチでの撮影はできない。  
各チームが任意で設定する撮影スタッフ1名が応援エリアからのみ撮影できる。
- (14) 本大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、無観客開催とする。